

第19号

NPO 法人子どもたちの生きる力をのばすネットワーク
Newsletter 2019（令和元年）8月5日 発行

のばす会・ネットワーク便り

本部事務局 〒475-0817 愛知県半田市東洋町1-8 アイプラザ半田 109, 110号室

電話 080-1622-5717

メール nobasukai1993@gmail.com

ウェブ <http://f-school.jp/nobasukai/>ブログ <http://blog.canpan.info/nobasukai/>

代表理事 赤松 由隆



ハートルーム特集

世界に一つだけの石鹼作り



月に一度のハートルーム。これまで毎月第1土曜日に開催していましたが、4月からは毎月第3土曜日に変更となりました。10時から15時まで、小学生中心にスタッフと一緒に過ごしています。

5月は、固形石鹼に好きな紙を専用の糊で張り付けたデコパージュをしました。子ども達の豊かな感性のもと、貼り付ける紙選びにまずじっくり時間を掛け、配置もこだわり、プレゼントする人をイメージしながら作成していました。夢中で作っている姿や完成した作品、どれも素敵でした。その後は、みんなで焼そばをたくさん食べました。

子ども達の素直な感性、みんなで食べるご飯、スタッフも子ども達からパワーをもらっています。

スタッフ 伊藤里香

ハートルームに参加して

ハートルームは月1回行われています。来た人から名前を書いて一日が始まります。まず、今日やることの説明があります。毎回楽しい手作り作品を作ります。その後、おいしい昼ご飯を皆で食べます。天気の良い日は外で遊びます。雨の日は室内でアイロンビーズをしたり、絵を描いたりします。おいしいおやつを食べます。帰りの会をやって一日、終わります。

お兄さんお姉さんが一緒に遊んでくれます。幼稚園から小学生まで年齢、幅広く触れ合っています。ぜひハートルームに遊びに来てください。

保護者 北原 稚香子



《おしゃべり会を始めました！》



今春から始まりました「おしゃべり会」に参加させていただいている。不登校児を持つ親同士がふだんの様子を自由に率直に話し合える場はなかなかありません。ハートルームの中にその思いを早くんで、おしゃべり会の場を設けていただけたことにとても感謝しています。まだ、数人でのスタートですが、新しい仲間が増え、輪が広がっていくとよいなと思っています。皆さんで顔を合わせていろいろ話することで気持ちが解放されたり励まされたり、それが毎日の原動力になると思います。 保護者 I

娘が不登校になり約3年、始めは何が起きたのか、親は大パニックでした。学校の先生は不登校の事例に慣れているからか「落ち着いて、慌てないで」と言いましたが、そんなわけにもいかず、やっとこちらの親の会に参加させてもらって、長い目で待つ覚悟ができました。とはいって義務教育終了まで学校とのやりとりや子どもへの対応など毎日続く小さな不安や疑問を相談する機会はなかなかありません。おしゃべり会で当事者だからこそ話をするだけでも、母として元気をもらえます。 保護者 Y

不登校で悩む親のためのお助け講座

- 平成29年度から不登校で悩む保護者の方が少しでも元気になれるよう
- にとの願いから「不登校で悩む親のためのお助け講座（お助け講座）」を
- 3年連続で開催しています。専門家の話を聞き、質疑応答や座談会を通し、
- 疑問や不安を整理し解決する手立てとしたいと思っています。今年度は臨
- 床心理士の司会による少人数座談会を母親向けと父親向けに3回計画しま
- した。来年は「カウンセリング講座」と「のばす会紹介とスタッフ養成講座」
- を計画しています。



第1回不登校で悩む親のためのお助け講座（母親向け）5月12日（日）

座談会に参加して 参加者 杉浦 珠実

誰にも子どもの相談が出来ず日々悶々と不安や悩みを抱えたまま生活しているお母さんは座談会で悩みを話して、参加しているお母さん方は自分が経験してきた話や自分の意見を言い合って、涙を流していたお母さんも最後は笑顔で参加してよかったですと言つて終わることができました。アットホームな雰囲気なので気軽に参加していただき、少しでも不安を取り払い解決の糸口になれたらいいなあと思いました。

座談会に参加して 参加者 佐々木 恵子

第1回不登校で悩む母親のための座談会に出席させていただきました。定員は10名程で、とても良い雰囲気の中お話しする事が出来ました。

子育ての中で正解は無いと思っていますが、普段自分が考えている事が他のお母さん達はどう考えているんだろうと気になります事も、参加されたお母さん方から意見を頂けたり、司会で臨床心理士の米村さんにアドバイス的なヒントがもらえた事も、悩んでいるのが私だけではないんだと、自分の気持ちが少し楽になった気がしました。

第2回不登校で悩む親のためのお助け講座（母親向け）6月23日（日）

お母さんたちのための座談会は10人ほどで始まりました。自己紹介をしながら「のばす会との関わりと最近うれしかったこと」を話しました。子どもが学校へ行かれなくなつて苦しかった思いや自分のやっていることがこれでよかつたか不安だと話されました。家族や学校から言われたことでうれしかったこと、悲しかったこと、心がくじけそうになったこともあります。

いろいろ経験された先輩お母さんや臨床心理士の米村高穂さんも話され、特効薬はないけれど少しでもみんなの笑顔をみることができ心が軽くなればと思います。

榎原 紀美子

第3回不登校で悩む親のためのお助け講座（父親向け）7月21日（日）

不登校の子どもを持つご家庭にあって父親の果たす役割は大きいと思い計画したのですが、果たして参加してもらえるか不安でしたが、座談会は8人で始まり、今回は不登校経験者の大学生井秀法さんにも参加してもらいました。話のきっかけは仕事から入っても、子どもさんの話になると子どもの気持ちやその対応に戸惑っている様子など皆さん率直に話し合うことができました。生井さんには不登校当時だれにも表現できなかった気持ちを語っていただきました。親からしかされることもあったけど、何も言われずにほっとかれるよりよかったですと言つた話を聞いて、子どもとかかわるヒントをもらった親さんもみえました。

不登校になった子どもを腫れものにでも触るように扱うより、親子の話し合いの中で起こるお互いの葛藤が親子関係を再び考え方直す原動力にもなるのだと教えていただきました。

赤松 由隆

フリースクールは今

プランターでの野菜作り

のばす会が、今まで利用させてもらっていた畑が、間もなく使えなくなるようです。そこで、今年からアイプラザの中庭にプランターを置いて、野菜を育てるようになりました。これには、以下のようなきっかけがありました

昨年の秋、ランナーから育てていたイチゴの苗が、今年の4月に実をつけました。そのうち、赤く色づき始めました。試しに食べてみたところ、意外と甘い！これなら、プランターでの野菜づくりもうまくいくかもと期待がふくらみました。

中庭は、日当たりもよく、毎日眺めることができます。月1回のランチ作りの時に食べることができたらいいなあ、子どもたちが好きそうな野菜って何だろうと考えながら、苗を選びました。そこで、ピーマン・きゅうり・ミニトマト・オクラと苗を買ってきて、育て始めました。時々、水やりや収穫を子どもたちに手伝ってもらっています。

スタッフも野菜作りの経験は少ないのですが、みんなで頭を寄せ合って、試行錯誤を繰り返しながらやっています。何にせよ、育てているものが成長していくのを見ることは、本当に楽しみなことです。

スタッフ 村瀬 明子



アニマルセラピー

夏の暑い7月～9月はお休みですが、月1回、猫2匹と犬4～5匹がのばす会に来てくれます。動物を飼っている子もいない子もうれしそうです。子どもたちの感想は「最初猫を見たとき緊張したけれど寝ていてとてもかわいかった」「犬に餌を投げてキャッチした時はうれしかった」大きな犬も小さな犬も背中に名前をつけています。お気に入りの犬のリードを持って散歩もしました。

榎原紀美子

「勝手に決めないで」と言わわれないため

臨床心理士 米村 高穂

「なんで勝手に決めるの！？」—こんな言葉を言われたり、思わず言ったりしたことはありませんか？こうした言葉への反論は、「あなたのためにやったんだよ」というのが多いようです。問題は、相手に「確認を取っていない」ことです。自分がどれだけ良かれと思ってやったことでも、相手にとっては気分が良いものではありません。このことに無自覚だと、どうしても相手との関係がうまくいきません。なぜなら、相手は「自分にも考えがあるのに聴いてもらえなかった」と感じ、結果的に“押し付け”と捉えやすいからです。どれだけ自分の考えに自信があったとしても、本人の意向を確認せず進めてしまうのは危険なのです。もしかしたら“手間”的に感じてしまうかもしれません、そのような確認は「自分のことを気にかけてくれている」という“尊重”として伝わるもので、長い目で見れば報われることの方が多いようです。但し、こちらは“確認”をしているつもりでも、焦って言ってしまえば、相手には「ゴリ押しされた」と伝わってしまうことがあります。また、「断られるのが嫌だから確認しなかった」という意見もあります。これも一理ありますが、命に関わるような緊急事態でなければ、やはり“拒否する権利”を守ってあげることも大切ではないでしょうか。医療研究の倫理審査をしている方の話だと、研究に協力してくれる人が「拒否できない」研究は倫理違反なのだそうです。

特定非営利活動法人子どもたちの生きる力をのばすネットワーク
決算報告書 <概要>
平成30年4月1日～平成31年3月31日まで

(単位:円)

科 目	金 額		
I 経常収益			
1. 受取会費			
年会費	118,000		
正会員受取会費	353,000		
賛助会員受取会費	166,834	637,834	
2. 受取寄附金			
受取寄附金	775,460	775,460	
3. 受取助成金等			
受取助成金	538,144	538,144	
4. 事業収益			
フリースクールによる青少年支援活動事業収益	0		
スタッフのカウンセリング技法研修事業収益	0		
青少年の健全育成に関する事業収益	25,000	25,000	
5. その他収益			
受取利息	3		
雑収益	19,000	19,003	
経常収益計			1,995,441
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	0		
法定福利費	0		
人件費計	0		
(2) その他経費			
諸謝金	68,240		
印刷製本費	4,087		
会議費	4,100		
旅費交通費	720,140		
通信運搬費	25,658		
研修費	19,000		
教材費	30,119		
行事費	188,696		
消耗品費	141,304		
水道光熱費	0		
賃借料	39,880		
雑費	5,472		
その他経費計	1,246,696		
事業費計			1,246,696
2. 管理費			
(1) 人件費			
給料手当	0		
法定福利費	0		
人件費計	0		
(2) その他経費			
広告宣伝費	60,089		
印刷製本費	56,832		
会議費	8,970		
旅費交通費	60,640		
通信運搬費	141,673		
消耗品費	401,466		
教材費	5,260		
水道光熱費	3,073		
賃借料	7,380		
保険料	96,600		
支払手数料	24,948		
諸会費	12,080		
雑費	6,032		
その他経費計	885,043		
管理費計			885,043
経常費用計			2,131,739
当期経常増減額			△ 136,298
前期繰越正味財産額			578,032
次期繰越正味財産額			441,734

寄付金・助成金をお寄せ頂いた方々へ（御 礼）

- 寄付金・助成金をお寄せ頂いた方々へ、心よりお礼申し上げます。
- 今後も、本会活動のため子どもたちのために大切に遣わせて頂きます。
- 会計及び経営全般については、古川公認会計事務所のご厚意により定期的なコンサルティングを受けています。

シンポジウム「子どもが不登校になったとき」に参加して

去る6月9日(日)13時30分から16時30分まで不登校・学びネットワーク東海主催のシンポジウムが相山女学園大学で開かれました。第一部シンポジウムでは不登校新聞編集長、ゆずりは学園理事長、不登校親の会理事長やスクールカウンセラー4名の方がそれぞれ個性的な取り組みを紹介され、意見交換等が行われました。第二部は、居場所リレートークを行い、のばす会も3分間スピーチを行いました。第三部は、相談・交流ブースが設定されましたが、のばす会への来訪者は少なかったのですが、熱心な質問者もいて密度の濃い交流が出来たと思います。のばす会に来てくれる学生も参加していました。若い人にとってもこうした集まりの雰囲気を感じるだけでもいい刺激になるだろうと思いました。150名程収容できる教室に一杯の参加者でした。

伊藤 敦

地域福祉サポートちたによるNPO現場視察研修 7月11日(木)



“NPO 法人地域サポートちた”主催、知多市東部地区民生・児童委員協議会の役員19名の現場視察研修がありました。大変熱心にのばす会のあゆみや活動、現状を聞き、不登校やひきこもりの子どもや親にとって、安心安全な居場所であること、その為にさまざまな支援事業を展開していることを学んで頂きました。2班に分かれて質疑応答と教室の見学は短時間の中スムーズに運ぶことが出来ました。身近で関わりを持つ民生・児童委員から活発な質問と前向きな姿勢が伺われ良い機会でした。

伊藤八千穂

半田ロータリークラブでの卓話 7月11日(木)

半田ロータリークラブの例会でお話しをする機会に恵まれました。松本順子会長の開会挨拶から始まり、和やかな雰囲気の中、議事が進み会食の後不登校の現状とのばす会の取り組みや子どもたちの様子について話をしました。皆様にのばす会の目的や事業内容などご理解いただけたのではないかと思います。

赤松 由隆



国際ソロプチミスト半田によるクラブ賞受賞 大学生 和田 アンドレア



私はボリビア生れで、小学校三年生の時に日本に来ました。小学校へ入学し、言葉がわからなかったせいで人間関係が上手くいかず、いじめにもあい、不登校になりました。不登校だった私は進学するのはもう難しいと諦めていましたが、教育委員会の方の紹介でのばす会に出会い、また学校に通いたい気持ちになりました。まずは、高校に入学したいと決め、小学校から中学校までの勉強をして、日本語能力試験や中卒認定試験等合格することができました。高校へ入学し、勉強を第一にできる限りの資格を取得に励みました。そして、大学へ入学することができたのものがばす会の方々の支えがあったお陰だと思っています。

「国際ソロプチミスト」という団体は経済面で厳しい女性や様々な事情を経て進学したいという女性を支援する団体で女子大学生奨学金制度に推薦してもらいました。残念ながら奨学金はもらえませんでしたが、クラブ賞を受賞しました。今回このような団体と出会ってとっても貴重な経験になりました。

過去に辛い経験をしたとしても、諦めずに夢を持ってそれに向かって頑張ることそして、もし途中で失敗したとしても、その失敗や辛い経験が自分を成長させてくれると思います。そして、自分の経験を活かし不登校やいじめにあっている子どもたちの何かの役に立つことが私の目標の一つです。

アイプラザ半田大規模改修工事について

大規模改修工事が8月1日から始まります。109、110号室はエアコンの取り付けと照明のLED化の工事だけですので、部屋と出入り口は今まで通り使えます。ただ、2部学習支援の終了は17時30分になります。工事は12月28日まで、予定より1ヶ月延びました。その間軽運動室での卓球はできませんので、体育館での卓球を月1回予定しています。講堂等の工事は3月31日まで続きます。工事は安全に気を付けて行われますが、車両の出入りや資材置き場があつたりしますので、送迎や自転車での通学には十分気をつけて下さい。

半田市社会福祉協議会からのご寄付

今年度お米（10キロ）とコンサートのチケット30枚のご寄付がありました。子どもたちやスタッフ、親の会の人たちが6月30日の半田市市民管弦楽団ファミリーコンサートで楽しく映画音楽鑑賞することができました。

物品の寄贈

NPO法人ボラみみより情報局様より（株）大塚商会様と愛知県図書教材協会様からの物資としてノートや紙コップ始め3点の寄贈がありました。のばす会でありがたく活用させていただきます。

書き損じはがきと未使用の切手の回収事業開始

今年度より書き損じはがきと未使用の切手を回収して、在籍した人達や相談に来られた方たちへの通信費に充てたいと思います。ぜひご協力ください。

今後の予定と活動

- ・のばす会は8月27日から始まります。
- ・サービスラーニングの受け入れ 日本福祉大学の学生4名が8月から5日間ボランティアで参加します。
- ・1月の文化祭で今井先生のスマホ依存の講演会を行います。詳しくは後日連絡します。

ご協力ありがとうございました。皆様の志が子どもたちの未来へつながります。

＜寄付者の皆さま＞ 令和元年4月～（掲載可の方々です） 順不同 敬称略

杉浦珠実、榎原紀美子、石黒辰彦、井戸裕二、浅野爽乃恵、伊藤惠造、本多正純、福島富美、古川ルミ子、榎原友恵、竹内建造、加藤正三郎、村上眞喜子、千田純子、加藤浩康、木村智恵子、赤松由隆、市田多美恵、九澤郁子、榎本弘子、青木貴子、長谷川元洋、福地保、福地昌子、足立香織、近藤嘉代子、佐々木恵子、梅村より子、竹内織江、渡辺和夫、由里宗之、新海美智子、百崎弘子、伊藤里香、村瀬明子、柴川久仁子、井戸美代子、竹尾裕子、榎本美砂、松本涼子、西川理恵、新原由子、松田和子、黒木伊津子、山内睦代

＜多額寄付の皆様＞ 笹井孝介

＜ろうきん寄付システムの皆様＞ 令和元年6月現在まで *毎月のご寄付ありがとうございます。

青木貴子、明石和也、伊藤慶子、大場直美、押田達也、加藤杉子、鬼頭啓祐、小島孝枝、小島留美、近藤誠、佐藤玲子、柴山和之、平岡幸廣、森本絵里、柳生幸子、吉田典子、柳橋利枝、脇田裕恵、和田誠、渡辺健斗、渡辺舞、渡辺幹久、浜田久子、巽幸代、新村由美子

＜団体寄付の皆さま＞ 順不同、敬称略 園田工業、東海オフィス、マエダモールド

*書籍、文房具、お菓子、果物、飲料などの寄付もありがとうございました。

皆さんのご寄付でのばす会は成り立っています。ご支援ください。

〈年会費・寄付金の振込先〉 □年会費 2,000円 □寄付金 1□ 1,000円から

①知多信用金庫 美原支店 口座番号 普通 2074829

名義：子どもたちの生きる力をのばすネットワーク会計 伊藤 敦

②東海労働金庫 半田支店 口座番号 普通 4500549

名義：特定非営利活動法人子どもたちの生きる力をのばすネットワーク

③ゆうちょ銀行 振替口座 口座番号 00810-9-154412

加入名：特定非営利活動法人子どもたちの生きる力

☆名義名がそれぞれ違い、ご不便をおかけしますが、お間違えのないようにお願いします。

